



自衛隊栃木地方協力本部

那須町町制70周年 那須九尾まつり ～地元住民をはじめ多くの来場者にPR～



「九尾」にちなみ、メイクをする広報官



賑わいを見せる自衛隊ブースの様子



偵察用オートバイを
楽しむ来場者



軽装甲機動車展示の様子



自衛隊ブースの様子



自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井一陸尉）は、9月29日（日）、中央即応連隊（宇都宮）の支援を受け、栃木県那須町で行われた那須九尾まつりにおいて広報展を行った。

九尾まつりは、「九尾の狐」伝説にちなんだ祭りであり、白面金毛（はくめんきんもう）九尾太鼓の演奏や九尾みこしなど、九尾の狐の伝説にちなんだ様々なイベントが開催され多くの来場者で賑わった。

当日は、那須町役場総務課、那須町家族会（佐藤会長）及び大田原支部・募集相談員（渡辺相談員）の協力のもと、自衛官募集ブースを設置し、佐藤会長からは、「一人でも多く、入隊者を確保できるように協力したい」と積極的に声かけをして頂いた。また、軽装甲機動車と偵察用オートバイの展示では、自衛隊車両の頑丈さやタイヤの大きさに驚く来場者の姿もみられ、車両に乗ったり、バイクにまたがり記念撮影を楽しんでいた。また、防弾チョッキの試着を体験した来場者は、「厚みがありますね。これを着て訓練するのは、大変ですね」と話すなど、自衛隊への理解を深めていた。

大田原地域事務所は、「今後も、役場、家族会、相談員等協力団体と連携し、地域に協力してもらいながらPR活動をしていく」としている。